

地域生活研究所共同研究

「地域から切りひらくエネルギーの未来」開催報告

2013年11月5日(火)、一般財団法人地域生活研究所との共同研究「消費者による主体的な電力選択の可能性について」の2013年度第2回公開研究会「地域から切りひらくエネルギーの未来」を開催した。



研究会の様子

前半では共同研究者であり、江戸川区で市民共同発電の取り組むNPO足元から地球温暖化を考える市民ネットえどがわの事務局長、山崎求博さんから「なぜ、市民・地域は発電するのか?～市民・地域共同発電所全国フォーラム2013に参加して」と題してご報告をいただいた。市民共同発電所運動のこれまでの経緯や9月に京都で開催された市民・地域共同発電所全国フォーラム2013での議論の内容、全国で様々な形による市民共同発電所づくりが起きていることなどを、都内をはじめ、全国の事例を交えてご紹介いただいた。間に事務局の三浦より戦後各地に存在した電気生協の事例やガスの生協の事例を話題提供として報告した後、後半では共同研究者の手塚智子さんより「再生可能エネルギー100%地域」全国会議報告」と題して報告をいただいた。同じく9月にカッセル市で開催された100%再生可能エネルギー地域プロジェクトの全国会議の様子や、市公社への協同組合の資本参加や住民投票などの手段により、市民がエネルギーの自治を取り戻そうとしている事例など、エネルギー事業を地域の手に取り戻そうとする、ドイツにおける様々な動きをご紹介いただいた。

当日は30名の参加者があり、報告後、市民が実際にエネルギー事業に取り組むにあたっての様々な課題、市民の参加によって持続可能な地域をつくっていくことの意義、「協同」という形の可能性、エネルギーにとどまらない「自治」への展望などについて活発な質疑と議論が行われた。

参加者からは「日本でも市民が中心になった様々な活動があることがよくわかった」「ドイツの動きはとても参考になった」「協同組合セクター総体としてエネルギー協同組合のような形を考えてほしい」「今後もぜひ継続して開催してほしい」といった声が寄せられた。今後、事務局としても共同研究者のお二人とも協力しながら、この間の共同研究の成果を様々な形で報告・公表するべく検討・準備していく。



山崎 求博 さん



手塚 智子 さん

★ 2013年度 第3回常任理事会を開催しました。

2013年10月29日(火) 16:00より東京都生協連会館において「2013年度 第3回常任理事会」を開催し、以下の議題について報告と協議が行われ確認されました。

- 報告事項
- 1) 調査研究事業の進捗状況
 - ・まちづくり研究会
 - ・生協研究会
 - ・共同研究・消費者による主体的な電力選択の可能性について
 - 2) 『まちと暮らし研究』18号準備状況
 - 3) 一般研究助成応募状況
- 協議事項
- 1) 上半期の事業及び決算と下半期課題について
 - 2) 中央労金・定期預金の期間変更について
 - 3) 第3回理事会(12月24日)の開催準備について
 - 4) 次回以降の機関会議開催計画について

★ 「一般研究助成」応募を締め切りました。

地域生活研究所・2013年度「一般研究助成」は、9月30日締め切りで募集したところ、17件もの多数の応募をいただきました。現在、選考委員による厳正なる選考を行っており、結果につきましては、12月中に発表できる予定です。ご協力いただきました皆様方に厚くお礼申し上げます。

★ 『まちと暮らし研究』18号は12月に発行します!!

18号は

男女平等参画をテーマにした特集の予定です

- ★ 女性の社会進出を阻んでいるもの
- ★ ジェンダー視点からみた政治参加
- ★ 自治の現場への女性参加
- ★ 男女平等参画をめぐる都内の状況と東京都の政策
- ★ 保育における協同の可能性
ほか

研究誌『まちと暮らし研究』は、一般に向けて1部500円で広く頒布しています。18号およびバックナンバーご希望の方はご連絡ください。

- 『まちと暮らし研究』16号
特集：「エネルギーのデモクラシーに向けて」
- 『まちと暮らし研究』17号
特集：「東京都」を考えるー自治の制度と大都市の課題ー

ご希望の方は下記までご連絡
ください。

一般財団法人 地域生活研究所
(担当：三浦・秋山)

TEL: 3383-8292

FAX: 3383-7840